

サバティ新聞

- 高知河ノ瀬版 -
2018.7月号

7月と言えば、七夕！

旧暦



7月7日の夜に、天の川の両岸にある織女星（おりひめ）と牽牛星（ひこぼし）が年に一度相会するという伝説に基づいて、星をまつる行事。五節供の一つだそうです。

ほとんどの神事は、「夜明けの晩」（7月7日午前1時頃）に行うことが常であり、祭は7月6日の夜から7月7日の早朝の間に行われるそうです。午前1時頃には天頂付近に主要な星が上り、天の川、牽牛星、織女星の三つが最も見頃になる時間帯でもあるそうです。

織姫と彦星の物語



七夕には欠かせない織姫と彦星の話ですが、中国の話に由来します。旧暦の7月7日に天の川を挟んで美しく輝く星が、琴座のベガと鷲座のアルタイルです。

- ・ 琴座のベガを織女の星座として裁縫の仕事をする女性=織姫
- ・ 鷲座のアルタイルは農業の仕事をする男性=彦星

中国では、七夕の日を1年に1度のめぐり合いの日と考えるようになりました。夜空に輝く星を見て、ロマンチックな物語を生み出したんですね。



七夕の飾り



竹や笹に色々な飾り付けをしています。竹や笹はまっすぐと育つことから、その生命力に神秘的なパワーがあるとされていて、竹や笹にあやかり、子どもの成長を願う親が多かったと言われています。

その他にも、

- ・ 願い事を書いた五色の短冊
- ・ 折り鶴 ⇒ 長寿
- ・ 神子 ⇒ 裁縫の上達や、一生着るものに困らないようにという願い、災いの身代わり
- ・ 巾着 ⇒ 金運、網飾りは豊作や大漁祈願
- ・ くすかご ⇒ 節約や清潔を意味します



等々、飾り付けをしていますね。サバティでも、利用者様が色々な飾りを作っていました。

ちなみに、七夕の日に食べる行事食は「そうめん」で、七夕にそうめんを食べると、大病にかからないとされているそうです。暑い時期にピッタリですね!

全国の七夕祭り



【仙台七夕まつり】

七夕まつりといえば仙台!というほど、毎年8月6日~8日の3日間、盛大に開催されます。

ちなみに、延べ観客数は、

1位 仙台七夕まつり 宮城県仙台市 8月6日・7日・8日
206万人/3日間 (2013年)

2位 湘南ひらつか七夕まつり 神奈川県平塚市
7月 第1金・土・日 155万人/3日間 (2016年)
だそうです。



7月生まれのご利用者の皆様おめでとうございます!

5日……	17日……
20日……	24日……
26日……	27日……
30日……	

空き情報はこちら
見学・体験、随時受付中!

月	火	水	木	金
○	○	○	○	○

・ 1日型 : 9:00~17:00
・ 半日型 : 9:00~12:15 / 13:30~17:00
どんなご相談でもお気軽にお問い合わせください!

電話 **088-837-1081**
ファックス **088-837-1082**



CAVATY

サバティ高知河ノ瀬店

機能回復リハビリスタジオ サバティ高知

介護保険事業所番号
3970105585

〒780-8034

高知県高知市南河ノ瀬町1-2

<http://www.cavaty.jp/>

